

# 令和3年度 芭露学園だより 第5号

令和3年8月25日発行



## 水芭蕉



本校の教育目標

「自ら学び 夢と希望をもって 進んで行動する子ども」

## 一生懸命

湧別町立芭露学園 校長 神谷 博之

夏休みが終わりました。この間、大方の予想通りコロナウイルスの感染が全国的に拡大し、様々な自治体で連日感染者数が最多になるような、厳しい状況になっています。私の夏休み中の心配事は、寝ても覚めても休み明けの9年生修学旅行でした。新聞を読んで「大丈夫かなぁ」と不安になり、ニュースを見ては「何とか実施できますように」と祈る毎日でした。今のところ（18日現在）道内で「まん延防止等重点措置」の措置区域に指定されているのは、札幌市・小樽市・石狩管内・旭川市です。これらの地域を外すことで実施することはできそうです。ですが、準備を進めてきた9年生にとって、自分たちで調べ、選んできた訪問先や体験内容を変更することになり、がっかりだと思います。また、実施することがゴールではなく、全員がコロナウイルスに感染することなく、無事故で戻ってくるのが大切です。様々な制約の中、心の底から楽しむのは難しいのかもしれませんが、義務教育9年間のよい思い出の一つとなるようにしたいと思っています。

さて、話はオリンピックに変わります。一観戦者としての感想です。いくつかの競技をテレビ観戦していて改めて感じたのは、一生懸命な人ってステキだなあ、すごいなあということでした。それは、メダル獲得の有無にかかわらず。一人ひとりの真剣な姿がステキだと思いましたし、真剣勝負だからこそ、全力を出し切るからこそ、勝敗に関係なく、メダルに関係なく、選手同士がお互いに敬意を表することができるんだなあと思いました。そして、人が一生懸命になっている姿を見るのはいいもんだなあと感じました。一生懸命な人を見れば、自然と応援したくなりますし、自分もがんばろうって気持ちになれます。

芭露学園の子どもたちには、一生懸命やれる人になってほしいと思います。別にスポーツである必要はありません。何事かを一生懸命やっていたら、必ずその姿に気付く人がいるものです。そういう人は、一生懸命な人を応援してくれます。表立っての応援ではないかもしれませんが。心の中でそっと応援するだけかもしれません。でも、自分のことを気にかけてくれる人がいる、応援してくれる人が周りにいるんだという状況は、今の世の中、これからの世の中、とても大切です。一生懸命になれるかどうかは、その後の人生の生きやすさにつながるだろうな…そんなことを考えたオリンピックでした。



9月

# の行事予定



学校ホームページの  
QRコードです。  
ぜひご利用ください。

日	曜	主な行事予定	部活動
1	水	クラブ 北海道シェイクアウト	
2	木	酪農体験(5・6年)	
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	全校集会 分掌部会	
7	火		
8	水	音楽部コンサート わくわく号	
9	木	宿泊研修①(8年)	
10	金	宿泊研修②(8年)	
11	土		
12	日		
13	月	研修日⑤ 定時退勤日	部活動なし
14	火		
15	水	学力テスト(9年)	
16	木	エンジョイタイム(生活保体委) ホタテ養殖体験(7年)	
17	金	STC職場体験実習(9年)	
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火		
22	水	マラソン大会 学校運営協議会 職員会議 わくわく号(入替)	部活動なし
23	木	秋分の日	
24	金	マラソン大会(予備日) 委員会	
25	土		
26	日		
27	月	生徒会役員選挙 スクールカウンセラー来校	
28	火	避難訓練② 定時退勤日 前期反省会議(分掌)	部活動なし
29	水		
30	木	前期終業式 前期反省会議(学級)	部活動なし

## 今年度の児童芸術鑑賞会は中止です

9月7日に予定されていた児童芸術鑑賞会は、公演団体の活動拠点である東京都が緊急事態宣言下であることなどから、昨年度に引き続き、中止となりました。